

【2年生】

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国 語	○内容の大体をつかむことはできるが、事柄の順序や場面の様子に関わる叙述を見つけ出して読むことに課題のある児童がいる。 ○語彙の量に個人差がある。 ○漢字の習熟の差が大きい。 ○一文を意識して文章を書くことが苦手な児童がいる。また、句読点や括弧を正しく使うことができていない児童がいる。 ○読書量や読む内容にばらつきがある。	○文章にサイドラインを引いたり色分けしたりして、事柄の順序や場面の様子にかかわる部分に注目しやすくする。また、文の基本構造等の関係を理解しやすくする。【係り受け解析・照応解析】 ○読書活動に積極的に取り組ませる。また ICT 機器を使用したり動作化したりすることで、言葉と音、実際の様子などが繋がるように言葉の指導を行う。 ○似た意味の言葉を使って言い換えたり、書き換えたりする。【具体例同定】 ○言葉集めや動作化、短文作りなど、語彙を増やす活動を取り入れる。 ○漢字の反復練習を行うとともに、学習した漢字を使う習慣作りをする。 ○音読を継続して行い、一文のまとまりを意識させていく。また、日記や作文などの文を書く際に、句読点や括弧の書き方などを繰り返し指導する。【係り受け解析】 ○図書、ポプラタイムなどの読書の時間を使い、単元の関連読書などに計画的に取り組めるようにする。
算 数	○くり上がり、くり下がりのある筆算の定着が不十分である。特に引き算での間違いが多い。 ○時刻と時間、長さ、水のかさなどの数量感覚についての経験が乏しい。そのため、実際の場面を想像して学習に取り組むことができず、単位を覚えられない。 ○自分の考えを表現することが苦手な児童がいる。	○計算練習をくり返し行い、計算力の定着を図る。また、既習事項を根拠として、新しい知識を獲得させる。【推論】 ○時刻と時間、長さ、水のかさなどは、具体物の操作活動を意図的に行う。また、日常生活での積極的な活用を促す。 ○友だちと考えを共有する時間を確保したり、図や絵や言葉を使った考え方を提示したりすることで、自分の考えを正しく説明できるような活動を取り入れる。【具体例同定】
生 活	○人との関わり、植物との関わり、生き物との関わりに意欲的に取り組むこと	○自然や地域、人とふれあう学習活動に計画的に取り組む。

	ができる。 ○体験したり観察したりして気付いたことや思ったことを絵や文で表現することにおいて個人差が大きい。	○自然や地域、人とふれあう学習活動についての自分の思いや考えを表現する時間を十分にもつ。また、それらの活動を通して気付いたことや考えた事を絵や文などで表す活動を繰り返し設定する。【イメージ同定】 ○他教科と関連付けて、表現の仕方を指導していく。
音 楽	○曲調に合わせて体を動かしたり、拍を感じてリズム打ちをしたりと、音楽を楽しみながら活動する児童が多い。 ○鍵盤ハーモニカの指使いがスムーズにできない児童がいる。	○教科書教材や歌集などを活用して、いろいろな曲に親しみ、簡単な合奏などを積極的に取り入れていく。 ○指使いの指導、音階読みの指導に力を入れていく。
図画工作	○意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ○はさみの使い方、のりの塗り方、絵の具の混ぜ方等、手先の使い方について積み重ねが必要な児童がいる。 ○作品の創意工夫が難しい児童がいる。	○はさみ、のり、クレヨン、絵の具などの道具の使い方の指導を丁寧に行う。 ○互いの作品を見合う活動を行い、同じ所や違う所を見付けられるようにする。【同義分判定】また、それらの活動を通して友だちのよさを取り入れたり、工夫して自分だけの作品を作りあげたりすることができるようにする。【イメージ同定】
体 育	○意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ○いろいろな体の動かし方の経験が少ない児童がいる。 ○鉄棒や固定遊具など、経験からくる個人差がある。	○体育の学習を通して、いろいろな体の動かし方を十分に経験できるようにする。 ○休み時間などを利用して、運動が苦手な児童には、体の動かし方を指導したり、経験させたりしていく。
道 徳	○道徳的な価値理解の個人差が大きい。自分の意見を表現できない児童もいる。	○友達の意見を聞いたり、考えを伝えたりする活動を通し、道徳的価値への理解を多角的に深めていく。 ○自分の生活を振り返る時間を取り、どうしていきたいかを毎時間考えさせる。